

会議要録

会議の名称	平成30年度 第2回和光市文化財保護委員会
日 時	平成30年8月22日（水） 14:00～15:15
場 所	和光市役所 5階 502会議室
出席者 ※敬称略	【文化財保護委員】10名の委員のうち9名が出席 田中 明、鈴木敏弘、矢崎康彦、小田部玲子、森 朋久、 内田はま子、大平秀和、並木實、関口泰典 ※欠席：小柳一彦 【事務局】 [教育委員会] 戸部教育長、東内教育部長 [生涯学習課] 横山課長、鈴木課長補佐兼文化財保護担当統括主査、 文化財保護担当 条野主事・安井主事・坂口（臨時職員）
傍 聴 者	13名

1 開会

2 市長あいさつ

日頃より和光市の文化財保護行政に、多大なるお力添えをいただきまして、心より感謝申し上げます。

さて、本日の議題の午王山遺跡についてですが、和光市の非常に貴重な遺跡であり、学術上の価値も市として認識していたところでございます。しかしながら、その保護に関して、財源等のハードルが高く、開発が進んできた状況にあります。

この度、その午王山遺跡が国の史跡として指定できる可能性が出てきました。和光市としては国史跡指定を目指すことを機に、午王山遺跡を「史跡」として保護するだけでなく、和光北インター東部地区の土地区画整理事業と組み合わせることにより、よりたくさんの人が集まり、賑わい、歴史・文化を学び、また近くでは地域製品の販売などが楽しめる、市の新たな拠点となる、北部の象徴としての午王山を作っていければと思っています。

我々も大きなチャンスと捉えておりますので、委員の皆様におかれましても引き続きのお力添えをよろしくお願いいたします。

教育長あいさつ

本日の議題は「午王山遺跡の意見具申について」となっております。前回の委員会から本日までの間、委員の皆様からは基本構想事務局案について貴重なご助言・ご意見を賜りましたこと誠にありがとうございました。

市長のあいさつにもありましたが、午王山遺跡は現在大きな局面を迎えております。遺跡を中心とした範囲を国史跡指定を目指して国への意見具申に向けて準備を行うことを検討しております。

先月末には文化庁の調査官がお見えになり現地視察をしていただきました。視察後、調査官からは関東でも貴重な弥生時代の独立丘上の環濠集落と北からの櫛描き簾状文の岩鼻式土器と南の東海地方からの擬似縄文の菊川系土器の2つの土器の文化が接する非常に重

要な遺跡であるということを述べられておりました。

意見具申相当との評価を受けましたので、午王山については委員のみなさまのご了承をいただいて国の史跡指定を目指して全力で準備を行っていきたいと考えております。

今後あらためて委員の皆様へご協力をいただく場面も出てくるかは存じますが、その際はどうぞよろしくお願いいたします。以上、簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。それではこれから各議題の審議をどうぞよろしくお願いいたします。

○事務局より説明・報告

- 1 市民参加条例第12条第4項の規定による会議公開及び要点記録による会議録の公開について説明。
- 2 今回より会議録署名委員が指名となるため説明。本日は並木委員、小田部委員。
- 3 小柳委員より所用による欠席の連絡をいただいている旨を報告。
- 4 配布資料について説明。

3 協議・報告

(1) 午王山遺跡の意見具申について

○田中委員長

本日の会議は、不開示情報の審議を予定していないので公開とする。
議題(1)「午王山遺跡の意見具申について」事務局より説明願いたい。

○事務局

意見具申へ至るまでの経緯、市史跡整備基本構想の策定に向けた手続きを取りやめ、本委員会から賛同をいただいた後、具申に向け必要な準備に入りたいと考えている旨を説明。

○田中委員長

事務局の説明に対しての意見・質問の前に鈴木委員より参考資料として池上曽根史跡公園の整備事例を紹介をしていただく。

(準備する間、東内教育部長より事務局説明の補足)

○東内教育部長

土地の購入・既存建物・土地の補償に関する補助金活用、北インター区画整理と組み合わせての構想について説明

○鈴木委員

プロジェクターを使用し池上曽根史跡公園の整備事例を紹介。

○田中委員長

各委員より質問等があればお願いしたい。

○森委員

国史跡指定を文化財保護委員会として今後協力をしていきたい。

○関口委員

国史跡ということで、素晴らしい方向に流れていると思う。本件を契機として、総合的に和光市をPRできるような取り組みを考えていきたい。

○矢崎委員

国指定となれば、素晴らしいことだと思う。資料の史跡範囲（案）では遺跡上面だけでなく地層が残る北側が含まれており、このように広く指定されることが望ましい。

○大平委員

国史跡指定になるということは和光市にとって良い方向に向かっていると思う。

○並木委員

国史跡に向け、進めていただきたい。午王山遺跡へと向かうには急な坂道を登る必要がある。遺跡へ行きにくい点について考えていく必要がある。

○鈴木委員

地形・立地を含めて荒川下流域の弥生時代の貴重な遺跡である。国史跡指定には時間がかかるかもしれないが、できるだけ現状保存が望ましい。

○小田部委員

国史跡指定範囲は午王山遺跡だけではあるが、吹上貝塚や神社仏閣なども含めて広く範囲に入ったら良いと考える。

○鈴木委員

今回意見具申に至ったのは遺跡展の開催や出土土器が市指定・県指定となったことが下地になったのではないかと認識している。

○田中委員長

国史跡指定を見据えた計画変更となるが、文化財保護委員会として本件に関して「ご賛同」ということでよろしいか。

→【委員一同】異議なし。

(2) 地福寺「筆塚」の文化財説明板について

○田中委員長

議題(2)「地福寺・筆塚の文化財説明板について」事務局から説明願いたい。

○事務局

説明板の文中、「筒の世は 静かにおくれ五十年」は筆塚に彫られている字が「筒」ではなく「花」の異体字ではないかとの助言について、資料等の確認をした上での事務局の見解を説明し対応案を提示。

○田中委員長

各委員より質問等があればお願いしたい。

○森委員

「花」の異体字は「蒼」となるが、筆塚には「ヒ」ではなく「エ」と彫られているようにも見受けられ、「花」の異体字とは言い切れない。また、「筒の世は」を「^よ世」ではなく「^せ世」と読んだ場合に「筒」の可能性もあるのではと考えているが、彫られている字は「筒」の異体字として捉えるのは難しい。現段階では事務局の修正案に賛同する。

○並木委員

今の段階では「筒」の可能性もあるということであるが、曖昧な表現にしておくよりも「花」なのか「筒」なのか確定できたらと思う。

○田中委員長

並木委員の意見を踏まえて調整をお願いしたい。

4 その他

○田中委員長

その他、報告や協議事項があれば、お願いしたい。

○森委員

テレビで見た和光市をPRする東京メトロのCMが良かった。

○事務局

- 1 清瀬市の富士塚企画展、11月に市内開催の企画展・シンポジウム案内チラシ配布。
- 2 次回の委員会の開催時期は未定となっているが、午王山遺跡の進捗状況等を郵送等により連絡する。

○副委員長あいさつ

5 閉会

和光市文化財保護委員会における会議要録に相違ないと証するため、会議録署名委員として、ここに署名する。

平成30年 9月27日

会議録署名委員 小田部 玲

会議録署名委員 並木 寛